

~チャレム野生化の裏情事~

子宮でゲットするのが
当たり前の世界。

スズナの子宮はマスターボール!!
受胎率100%

全221枚

・台詞付き138枚
・絵差分83枚

▷ポテ腹6段階
▷子宮断面図あり





キツサキシテイ、寒冷なシンオウ地方でも
特に寒地とされる地域。

季節は冬、街から少し離れた森の中。

雪の積もる森の中に響くパンパンという乾いた音。それに混じる、女のあえぎ声。しかもその声はまだ艶っぽくもまだあどけなさの感じられる少女の声だった。

おそらく10代半ばから後半ぐらいだろうか、いくらやり盛りとはいえ、雪の積もる寒中では相当お盛んである。





それはなんとキツサキジムのジムリーダー、
スズナだった。

しかも、相手は人ではないポケモンだ。
トレーナーの模範となるべき存在のジムリーダーが
ポケモンと盛りあい、あまつさえ青姦。











なぜ、彼女がこんなことをしているのか。
それを知るには少し時をさかのぼる――。





今日もあついなあ...

彼女の名は、スズナ。
キッサキシシティのジムリーダー。
氷タイプ使いだが、氷を溶かすような熱い
ポケモンバトルをこよなく愛する少女。



まだ年端もいかない少女だが、出るところは出る、
肉付きの良い体をしている。
特性は「あついしぼう」といったところか。

故に寒さに強く、寒さの厳しいキッサキシシティでも
スズナには薄着がちようどいいぐらいだ。

あ！スズナちゃん今日は
前にまして薄着だね！

うん

ソックスも上着の袖も
要らないかなあ…って

これでも少し前までは袖付きのブラウスと
足には厚めのソックスを履いていた。

だが、色んな意味で成長期のスズナは
「あついしぼう」という名のメス肉も日々発達していた。

そのうちに全裸になっちゃったりして

それはさすがに捕まっちゃうって……!!



生まれつきメスとして高い個体値をもつ
スズナの身体だが、注ぎ込まれた努力値もまた、
歳のわりには豊富であり、この交尾専用ボディを
作り上げていた。



努力値、実はこの少女の体は多くの男を経験している。

とはいえ、人間の男に抱かれた経験はない。
あるのはポケモン。そう、ポケモンのオスである。

ポケモンは子宮で弱らせ捕まえるもの。

どうしても生殖行為を伴い、その刺激が

女性ホルモンの分泌に影響し、

スズナをここまでのドスケベジムリーダーにしたのだ。



そういえば
さつき街を出て
すぐの草むらで
「チャーレム」見たよ！

え！
本当!?



話は変わるが。

もともとその地域において、チャーレムは生息数が少ない、かなりレアなポケモンだった。

寒さの厳しいキツサキ周辺に氷タイプでもないチャーレムが住むのは理に適わないからだ。しかし、ある時を境に個体数が増加し、とくに珍しいポケモンでもなくなった。

話を戻し、スズナはキツサキジムリーダーの氷タイプ使い。氷タイプの弱点は岩や鋼、つまり、格闘タイプのポケモンを手持ちに加えるため、自分のトレーナーとしての腕を高めるため、チャーレムを探していた。



早速、現地に向かったスズナ。



相対したチャールムをいざ捕獲、
お腹のモンスタールボールがキョんキョんと疼く、
武者震いだろうか。いや、恐らくはただの性的興奮だ。

全力でチャールムを探したスズナは寒中にも関わらず、
汗だくだった。

身体中から湯気がたち、その湯気は
スズナの高い個体値フェロモンが含まれる。

「あまいかおり」のような効能にチャールムも、
スズナのフェロモンに引き寄せられたのだ。



あ…あれ…
このチャールム…
もしかして…





しょうがない…
こうなったらお腹の
モンスターボール
の出番だね！







Kawaii

おっぱい



I字に大きく開脚するスズナ、短いスカートがはだけ、中身が外気に晒される。あるはずのモノが無い。暑がりな彼女は下着すら着用していなかった。

少女感タツプリの無毛の一本すじが惜しげもなく露わに。

I字開脚してもピッタリと閉じたままのワレメがヒクつく姿はオスを挑発するようであり、

「ゲットしたい」という隠しきれない^{生殖本能}捕獲欲の現われだ。



とくはな

うはっ♡
思ってたより
おっきいねえ〜!?

ひび
くさ



私のナカ…
ちやんと入るかな…















そうだ今日…
危険日だった…



相手が人間だったららまずー100%妊娠している日。
セックスが交尾になる日、
子宮が捕獲率ー100%のマスターボールになる日だ。



子宮…いつもより
敏感すぎるい…♡

腰を振らせ、射精させ、体力を消耗させ、ポケモンを弱らせる。そこからの捕獲。その名も「**子宮捕獲法**」。ポケモンゲットの常識である。

しかし、孕みながら危険日のスズナの子宮は、普段より敏感だった。子宮での捕獲に慣れたスズナでも、異種とはいえ妊娠準備の整った子宮を、オスの生殖器に小突かれては身体が誤解してしまう。





子宮が…赤ちゃん
作ろうとしちゃう…♡
これじゃ私のペースに
持っていきにくい…





でも私はジムリーダー!!
不利な状況でも
負けたりしないよ!

ちゅぽん!

ちゅぽん!
ちゅぽん!
ちゅぽん!
ちゅぽん!

ちゅぽん!

ちゅぽん!

ちゅぽん!



自爆!!

!!

!!

!!

!!

チャールレムは細身でありながら、その攻撃力はバカにできない。特性「ヨガパワー」による攻撃力の倍化。そして、得意ワザの「ツボをつく」が的確に適齡期の^{子宮}肉壺を突き崩す！

そこから生まれる快樂は、経験豊富なスズナでも未経験の境地。

氷タイプ使いの子宮は格闘タイプのチンポに弱いのか、効果抜群と急所を連発され、形勢逆転。

チャールレムのヨガパワーの前に、スズナはただただヨがるしかなかった!!





たまらず潮を吹く…が、
体力ギリギリのゴミのような威力の潮吹き。
もはや敗北宣言のようである。

ポケモンバトル

ポケモンの敗北を目の前に、スズナの中で芽生える何か。

何かはわからないが、これに目覚めてしまえば
自分は戻れなくなる。ポケモンゲットという
目的が薄れ、ジムリーダーとしての志が崩れ、
その何か：メスとしての新たな存在意義に
上書きされてしまうような感覚とのバトルが
脳内で繰り広げられる。





お願い!!!
おまの捕まひんか
おまの捕まひんか

おまの捕まひんか

おまの捕まひんか

おまの捕まひんか

おまの捕まひんか

おまの捕まひんか

これまで以上の深い突き、スズナの下腹部に子宮が浮かび上がり、膣内でチャールレムのペニスが激しく鼓動する。

スズナは察した射精の前兆だ。

出産適齢期なうえ、危険日という最も生殖本能が強い時期に、優秀なオスポケモンの「つぼをつく」を連発され、スズナの子宮は完全に口説き堕ちていた。

少しでも奥に射精するため、目の前のメスを孕ませるためにチャールレムも腰を押し付ける。口の緩み切った子宮に、ペニスがグリグリと押し付けられた結果。



奇跡が起きた。「グボン」という情けない異音がスズナの胎内で鳴った。

それはペニスが何かを潜り抜けたような音。紛れもなく子宮口を貫かれた音だった。

龟头と子宮内膜という生殖器の最奥の粘膜同士が接触する。スズナにとっても初めての経験、それだけで妊娠しそうだ…とすら思わされる快樂。

中出しするのに完璧すぎる射精位置。チャールレムもキンタマとサオを鼓動させ、目の前のメスを孕ませるべく、精液をせり上げた…!!





子宮は、
卵を産む場所です。
受精した卵は、
子宮に定着し、
そこで成長します。

アッ!
アッ!
アッ!

アッ!
アッ!
アッ!

アッ!
アッ!
アッ!

アッ!
アッ!
アッ!

子宮は、
卵を産む場所です。
受精した卵は、
子宮に定着し、
そこで成長します。

しかしイキまくってるスズナにそんな余裕はない。

射精の瞬間は最もポケモンが隙だらけになる
捕獲の絶好の機会。

すっげえ射精っ!!
完璧なタイミングで
種付け捕獲されりゅ!!



ひんし寸土めの子宮に、モンスターボール代わりの種付けマーキングがされる。限りなく捕獲率が100%に近くなった子宮はゲット寸前。





お腹のモンスターボールを使った子宮捕獲法は
決まれば強力だが、人間の尊厳をかけた諸刃の剣
でもある。

一歩間違えれば、ポケモンのペニスの魅力に
堕ちてしまう。

ただでさえ、スズナはやりたい盛りの年頃。

適齢期の子宮はオスを求めている。

しかも、敏感な危険日。

そして、メスとして高い個体値、

ポケモンチンポにいつメロメロになってもおかしくない。



今のスズナの身体は、子宮捕獲法との相性は最悪レベル。

適齢期危険日のチョロ雑魚子宮は、チャーレムのポケモン精子でもお構いなしに孕もうと、子宮口を使って「ゴキョゴキョ」と精液を飲み干していく。



うっ…ぐるじい…♡
ヨガパワーがごんにやに
しゅごいにやんてええ…♡

ぽんぽん

おー

みち

おー



ちんぽこモーモーミルクが
こんなにやに美味しいなんて...
知らなかったよお...♡

もう...
子宮がメロメロなおお...♡

うおー

チャーレムの濃厚ザーメンで
スズナの腹は臨月の妊婦のように膨らむ。

一切の隙間も許さない、卵管も卵巣も精液一色。

そのボテ腹の重さは相当のモノ。
精液の重さを感じるという、人間相手では絶対に
経験できない非現実的な快樂に、
スズナの中のメスは歓喜した。



おにやか重いいい……♡

精子がこんなにお腹の中で
ハッキリわかるなんて……♡

ぽんぽん

おーん

スズナは敗北の悦びを初体験した。
メスとしてオスに敗北し、文字通り雌雄が決した。

野生ポケモンに負け、ジムリーダーとしてのプライドに傷をつけられ、悔しさを感じているにもかかわらず、スズナの表情は悦びに満ちていた。

スズナのこの姿を見たものは幻滅するだろう。
ポケモンを使役するジムリーダーが野生のポケモンに無様なアヘ顔にさせられたのだから…。





私が...自け...

ちゅ...

ちゅ...

お...

お...



やり逃げ…
されちゃった…

おー

種付けを終えたチャーレムはその場から去っていく。
余韻に浸るスズナの身体はビクビクと痙攣している。

こうしてる間も、子宮の中が精液で汚されてる。
数百億という数のチャールレムの精子が、スズナの
適齢期卵子を探して子宮の中を泳ぎ回っている。



お腹……♡
妊婦さんみたいにな
されちゃった……♡

おはな

おはな

おはな

人間が相手だったら、確実に望まない妊娠をさせられている状況だ。

オスに負けたメスとしての敗北感。

スズナの頭の中は悔しさでいっぱいだったが、一方でスズナの子宮は初恋を知った乙女のようにキョんキョんときめいていた。





翠田

ピンポン

ちゅんちゅん
ちゅんちゅん
ちゅんちゅん

え!?

スズナちゃん
どうしたの?
そのお腹





昨日「子宮捕獲法」で
ポケモンをゲットしようとしたら
返り討ちにあっちゃって…

えへへ…♡

へえ…

じゃあそれ全部
ポケモンの精子なの？

スズナちゃんでも
そんなことあるんだあ

ちゅぽん
ちゅぽん

先日のポケモンバトルに敗北したスズナ、
そのお腹は未だに臨月の妊婦のように膨らんでいた。

一見妊婦のようだが中身は精液。
歩く度にお腹の中でチャンプチャプとチャーレムの
遺伝子情報がつまった液体が波打つ。

妊娠出ベソなうえに、薄っすらと妊娠線まで
浮き上がったこのボテ腹は敗北の証、
惨めで仕方なかった。





気が付くと、スズナは先日チャーレムと遭遇した
草むらに向かっていた。



これはリベンジ……!
今日は絶対に勝つんだから!!

ちんぽん
ちんぽん
ちんぽん

ってかやっぱ歩きにくい…
このポケモン精子い…!!
いつまで私のナカにいる気よ!!

このお〜

ちゅんちゅん
ちゅんちゅん

無自覚なうちにスズナの体には変化が起こっていた。

確かに、ポケモンの精液は、濃厚でゲル状で
粘着力が強い。子宮のように出口の狭い場所に
注ぎ込まれたらしばらくは溢れないだろう。

あんまりお腹の中でタップタップ打たせると発情しそう…
わたしの子宮も早く気づいて…!!
それ…ポケモンの精子だから!

お腹キュンキュン
しないでよお…♡

なんでポケモンの精液で
こんな気持ちになるの…??
昨日から私の身体おかしいよ…





そこに現れるチャーレム、それはこの前スズナを犯したチャーレムだ。見た目は他のチャーレムと区別はつかないが、匂いでわかる。

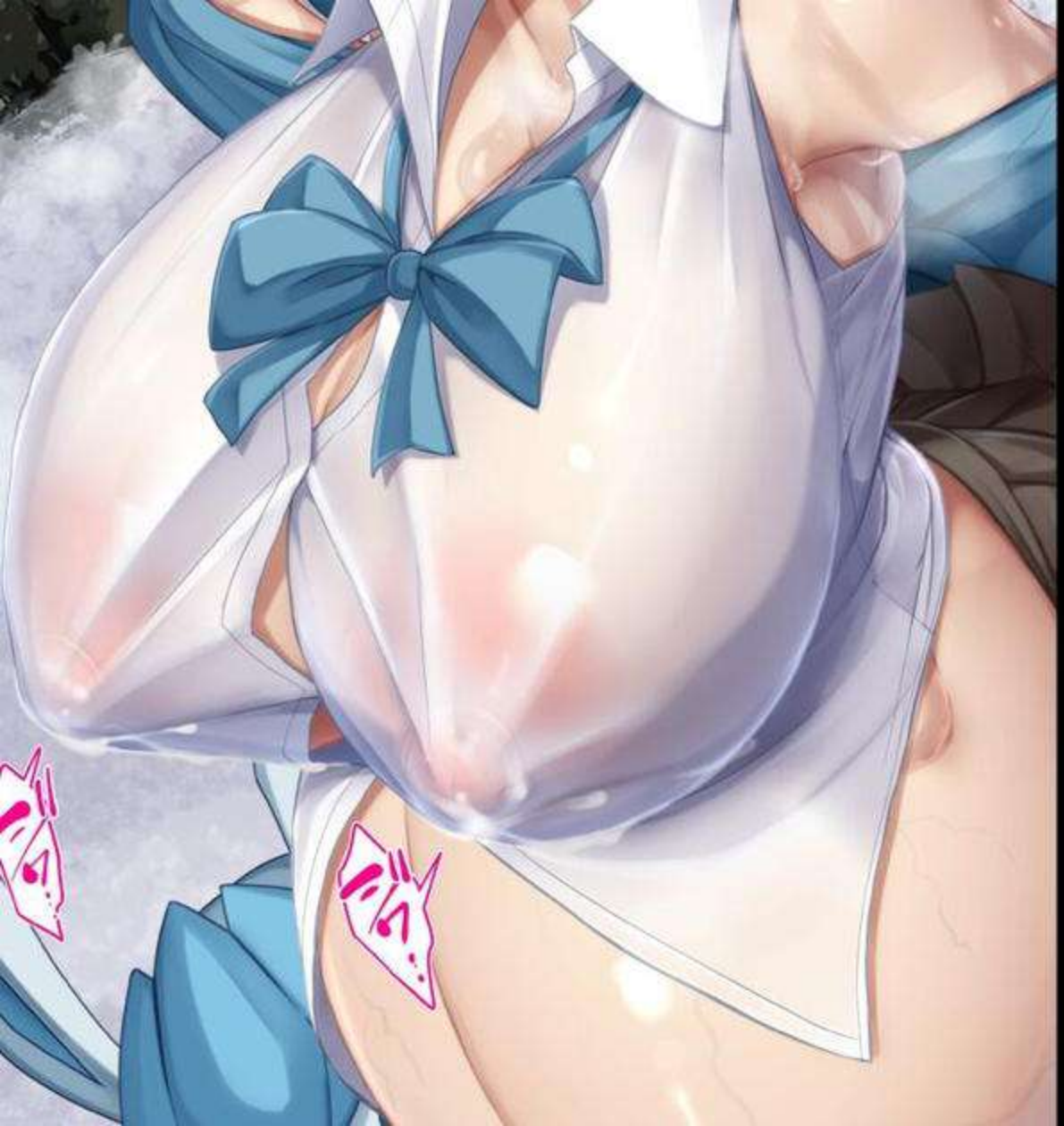


一度、目が合い、目合った。まぐわ
体を重ねた相手のフェロモンだ。
やり盛りで妊婦適齢期の身体は、
相手を好敵手っがいとして覚えていた。



スズナの乳頭から白い液体があふれでる。

スズナの体は産めるはずのない相手の子供を欲していた。
その欲求の強さのあまりに、妊娠前から母乳を
出してしまふ。



膨らんだ子宮の脇、卵巣が熱くなる。
排卵待ちの卵子が複数、今か今かと、
いつでも危険日になれる支度を整えている。





私の体…もうここまで
メス化してる…

なんとしてもこの
チャームを捕まえて
私のほうがご主人様
なんだとハッキリ
させないと…!!

人としての尊厳を
取り戻すんだ…!!

目が合う二人…いや二匹か。

ポケモンの世界では目が合うというのは
バトルの合図。

まぐわ
目合う合図だ…!!



リベンジするなら当然、子宮捕獲法！
これで勝たなきゃ意味がない！

しかし、チャーレムは成長していた。
スズナに勝ったことで、経験値が入りレベルが
上がっていたのだ。

一方で負けたスズナのレベルは据え置き。
レベル差の暴力が結合部のポケモンバトルで
繰り広げられる。





レ...レベルが
違いすぎる...♡

ドン！

ドン

ドン

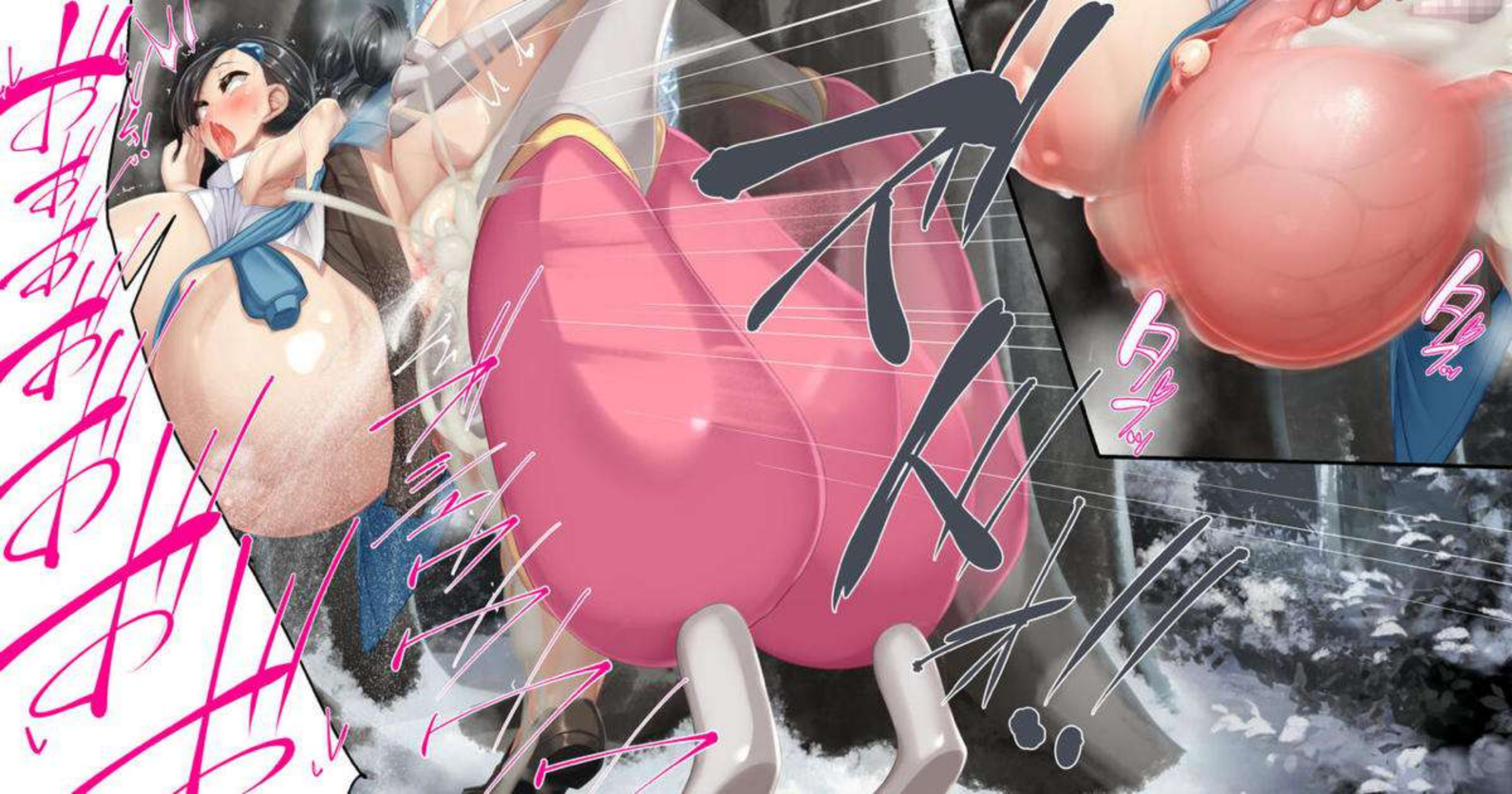


ハッ
ハッ
ハッ

ハッ
ハッ
ハッ

ハッ
ハッ
ハッ

射精まで耐えるんら…
気をしっかり…その瞬間
ゲットしてやりゆ…!!



すでに精液でたぶたぶの子宮が、突き崩されるような
突きが炸裂。気をすっかり…という覚悟は
潮吹きとともに消え去る。

チャーレムのワザ「つぼをつく」は子宮という肉壺には
この上ない特効ワザだ。しかも、一度スズナに勝った
チャーレムはスズナの弱点も網羅していた。





負ければ負けるほど相手が強くなる。
ポケモンバトルの恐ろしいさ。

威力の上だったチャーレムの射精に
ゲットをするつもりが、スズナは気がつけば相手の
虜になっていた。



負け癖のついたスズナのまんこは、
完全にチャーレムのペニスに負けを認めた。

レベル差もあるが、オスとメスの種族値の差を
見せつけられた。文字通り雌雄が決した瞬間だった。



中出しと同時に、同じぐらいの勢いで射乳する。

孕みたがりのスズナの身体は、妊娠前に…それどころか妊娠するはずのない相手の子供を育てようと、先走りすぎて母乳を大量生産。

子作り用のミルクをもらった代わりに、子育て用のミルクを乳首からぶちまける!!





私は…
ポケモンの赤ちゃんを
生む気なんてないのに…!!

ウツウツ

ウツウツ

ウツウツ

本人の意思とは裏腹に、スズナの中で生殖本能が暴走する。

十代半ばという、最高に子宮が異性を求める時期に、人間相手では味わえない規格外の快楽を惚れっぽい子宮に叩き込まれたのだ。

さらに、生まれつき高い個体値と、今まで注ぎ込まれた努力値が、スズナの**子宮をフォルムチェンジ**させた。



子宮が…
排卵しそう…

ウッ!!
ウッ!!



スッパッパッパッ

スッパッパッパッ

スッパッパッパッ

スッパッパッパッ

スッパッパッパッ

スッパッパッパッ



絶頂とともに卵巣が脈打ち、卵子が放出される、
ポトンポトンと無防備な卵子が精子の海に沈み込む、
配偶子の接触。

それは、本来は結合するはずのない者同士。
しかし……。





その瞬間、頭に直接流れ込んでくる見えるはずのない情報の快楽。腹の中で卵子と精子が結合した映像がスズナの脳裏によぎった。

受精した…妄想ではないという確信があった。



また...
負けひやった...!

又だ!!



なのにしあわしえ…♡

♡♡♡

キキキ

キキキキキ

キキキ





卵子というマスターボールで、最愛の遺伝子を捕まえた悦びを全身で表現する。

白目を向き舌を突き出し、整った顔を台無しにしながら、犬のように嬉ションを撒き散らす。

捕まえる側のスズナという少女が、捕まる側になった瞬間だった。

スズナは気づいた、子宮というマスターボールに捕まったのは自分の方だと…。



لله عزة ولرسوله
♥

さらに数日後。

相変わらず、スズナの腹は膨らんだままだった。
だが、その理由は少し違った。



そういえば最近この近辺で
※チャレムの進化前
アサナン よく見るようになったよね
大量発生でもしたのかな…

え…!?
えと…そうなんだ…






や...やばい...っ!!
産気...!?



ごっ…ごめん！
ちよっと急いでるから！！

え？
あ…うん



いっちゃった…
あれ…？
なにこれ…

これ…
ポケモンのタマゴ…?!



生臭い半液体状の白濁液にまみれた、
球体状の物体。

それは、紛れもなくポケモンのタマゴだった。

一体だれが、いつの間にも置いた…いや、産んだのか…。
そして、チャーレムの進化前、アサナンの
謎の大量発生。

その原因が、この街のジムリーダーにあることなど
誰も知らない。







今日こそこのおチンポ様を
ゲットしてやるんだからあ!



わたひの...
よわよわまんこで...♡

クワッ!
クワッ!





わからせ交尾いい…♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡



赤んぼんは生まれました
またはいよいよ産まさせていただきます!

クッ! クッ!

クッ! クッ!



人目につかないところでポケモンと盛り会う少女。
その名も、スズナ。アサナン大量発生元凶。

彼女はチャーレムを捕まえたのか…、
捕まえたには捕まえた。だが、主従関係は真逆であった。
チャーレムにとっても、この関係は種の保存において
都合が良かった。











入
た
ん
だ
ら
ん

う
わ
あ
あ
あ

う
わ
あ
あ
あ

う
わ
あ
あ
あ



う
わ
あ
あ
あ



マンコでペニスにお仕置き交尾。
案の定、わからされたのはマンコのほうだった。
ペニスに勝つ気の調子に乗った生意気マンコに
主従関係をわからせるナマイキ中出し。
身体の数倍はある精液ボテは、
スズナはただ、**孕んで産むだけの肉壺**になれば
いいのだというチャーレムからのメッセージだ。



おっ！

おっ！

おっ！

おっ！





生まれの

生まれの

生まれの



以前のポケモンバトルで、フォルムチェンジした
スズナの子宮。その全貌は交わったオスの種を
産めるといふ体質の変化であった。

ポケモンには交配したメス側のポケモンのタマゴが
産まれるという法則性がある。

だが、例外も存在する。





わたひのメタモンまんこで
いっぱい孵化厳選してくらはあい…

んんん
んんん

つゝ… づゝ…

スズナの言った通り、例外とはメタモン。

ポケモン界の産む機械、作る機械として定評のあるメタモン。その性機能にスズナの子宮は目覚めたのだった。

先の噂にあったアサナンの大量発生。その原因はまさにスズナ本人。彼女がチャールムと交わりタマゴを産みまくったのが原因だ。

本来、この極寒の地域にアサナンは住み着きにくい、スズナの遺伝子を引き継いだアサナンは、彼女同様寒さに強い体質だった。

生まれながらに高い個体値を持つスズナは、繁殖力も当然のように高かった。

そこに、パートナーとして身体の相性の良いポケモンが合わさること、短期間で周囲の生態系ガラッと変わったのだった。





END







































































































































































